

2018年度卒塾生 マイナスからのスタートの覚悟

先月、無事に新中1の入塾テストを終えましたが、昨年の卒塾生の中にも“入塾テスト”と言えば忘れられない子がいます。Nちゃん。端正な顔立ちで口数は少なく、質問されれば必要最低限のことを低いトーンで返答してくるおとなしい印象の女の子でした。

彼女が当塾にやって来たのは新中1の入塾テストの時。この年は新聞折り込みチラシでの募集は行っていなかったのですが、それでもNちゃんは入塾テストを受けに来てくれました。

さて、その結果は・・・さんざんなものでした。算数の実力テストは100点満点中の25点。入塾基準である計算力もあるとは言えません。かけ算の筆算や分数の四則混合計算などを間違えていて、全問出来ていてほしい計算問題は6問中3問しかできていない状態です。できていたのはこの3問の計算の他に分数小数混合の大小比べと売値を求める問題の2問のみ。速さや平均を求める文章題も、面積や角度や周の長さを求める図形問題も全く出来ていませんでした。さらに算数だけではなく、国語の実力テストや基礎能力テストも芳しくなく、最終トータルの結果は最下位に。テスト結果をもとに行う面談を前にして、私は、「ショックを受けるに違いない。計算の再テストは本人が受けると言わないんじゃないか。」と考えていました。自分の結果を見て、泣き出してしまう子もいる面談です。この結果ではよほどの覚悟と決意がないと挑戦するとは言えません。そしてついにNちゃんとの面談。一つ一つできているところとできていないところを説明していく私の前で、真っ赤な顔をしてじっと聞いているNちゃんがありました。一通り説明が終わり、いよいよ確認です。「今の状態では入塾は認められない。計算の再テストを受けますか。」。はたしてNちゃんは一まっすぐ私の目を見て間髪入れず、「はい、受けます。」と力強く答えたのです。お母さんの顔を見るでもなく考え込むでもなく即答でした。できていない自分を自覚し、だからこそ、ここでここから頑張りたいという意思がはっきり見受けられました。後日、再テストに見事合格。入塾テスト始まって以来の算数25点での合格者となりました。小学校内容がほとんど身につけていない、ゼロどころかマイナスからのスタートです。

入塾後、私の感じた彼女の覚悟は本物でした。必死に授業に食いついてきます。一生懸命宿題にも取り組みます。時間をかけ、粘り強く、少しずつ、少しずつ力を伸ばしていきました。

3年後、学年順位を7位、内申を42にまで伸ばした彼女がいました。現在瑞陵高校に元気に通っています。「先生、Nちゃんは私のボケに誰よりもつつこんでくれておもしろいんですよ！」友達塾生の言葉が印象的です。実は明るいNちゃん。楽しい高校生活を送ってくださいね！！